



洞爺湖町ゼロカーボンシティ宣言

～2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します～

私たちのまち洞爺湖町は、世界ジオパークに認定された「洞爺湖有珠山ジオパーク」や世界文化遺産に登録された北海道・北東北の縄文遺跡群の一角を担う「入江・高砂貝塚」など、世界に誇る優れた自然環境を有しており、これら町の宝を次世代に引き継ぐことができるよう、自然環境及び景観の保全を進めるとともに、北海道洞爺湖サミット開催地として、環境問題などへも配慮したまちづくりを進めてきました。

近年、気候変動を背景とする異常気象が世界各地で発生し、我が国においても平均気温の上昇、大雨、台風等による被害、農作物や生態系への影響が観測されており、今後、豪雨や猛暑のリスクが更に高まることが予想されています。

このため、私たち町民一人ひとりが今まで以上に地球環境に強い危機感を持ち、更なるカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを進めるためには、行政・町民・事業者が一体となって邁進する必要があります。

このことから、町では「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指すため、町を挙げて「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、鋭意取り組んで行くことをここに宣言します。

令和5年1月13日

洞爺湖町長

下道英明